

**事業所における自己評価結果（公表）**  
**船橋市こども発達相談センター ひまわり親子教室**

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	利用者からスペースが狭いと複数の意見がでているので、遊具や棚を移動し、スペースの確保に努めている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		動線の配慮、視覚支援を行なっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		落ち着いて生活できるように、遊びのスペースと生活のスペースを工夫している。教室内の換気や消毒の徹底を行ない、活動中も利用者の手に触れるものはその都度消毒する等している。また、動線の配慮、視覚支援も行なっている。
事業改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページや教室内に掲示して周知している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	次年度第3者評価を実施する予定。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		コロナウイルス感染症の関係で中止となる研修もあったが、オンラインでの研修を受講する等した。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		絵カード等を使った視覚支援、タイマー等を使った聴覚支援を行なっている。また、アセスメントツールについては応用行動分析学等を勉強し、向上をはかっている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		全職員で話し合い、個々に合った計画を作成している。また、個々の課題を職員間で共有し、適切な支援ができるように努力している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		コロナウイルス感染症の関係で会議は無かったが、必要な情報等は電話・書面・対面で連絡を取り合っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者を介してお子さんの様子を共有したり、児童発達支援計画を保護者から所属園に渡してもらう等している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			該当なし
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	コロナウイルス感染症の関係もあり、近くに交流を受け入れていただける園がないので難しいが、感染状況が落ち着いていた時に、近隣の児童ホームに遊びに行くことはできた。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者と児童発達支援計画等を共有し、共通理解を図っている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		定期的に保護者向け講演会を実施したり、必要時に個別に対応する等している。	

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		面接及び契約時に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談日を設けたり、定期的にモニタリングの機会を設け保護者からの子育ての悩みに応じ、必要な支援と助言を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者同士の情報交換やコミュニケーションの場を母子分離で提供している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談日の日程を掲示し、保護者に周知している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナウイルス感染症の関係で、地域の方等を招き入れることはできなかった。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		コロナウイルス感染症の関係で、感染症対応に重点を置き、職員や保護者に周知し、対応した。防犯対策としては、施錠を徹底している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		シェイクアウト訓練を毎月実施している。年4回避難訓練を実施し、その内の1回は、消防署に協力していただき、避難訓練・保護者対象の消火訓練を行った。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		予防接種の確認はしていないが、服薬やてんかん発作等の状況を把握している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			該当なし
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	身体拘束は想定されない。

公表日：令和5年5月29日